

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(浄化)起債償還元金	会計名称	浄化槽整備特別会計			担当課	下水道課		
		予算科目	2 款 1 項 1 目	事業番号	8815	所属長名	角田栄治		
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	丹生谷夏芽		
法令根拠等	地方財政法、地方自治法					実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造						【終了】	平成	年度(予定)
	潤いのある水環境づくり							☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	子どもからお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築								
事業の対象	浄化槽整備事業（市町村設置型）における起債の元金償還。				事業の目的	住民負担の世代間の均衡及び当該年度の財源確保のため起債の借入、既借入分起債の元金の計画的な償還を行う。			
事業の内容（整備内容）	予算編成時に財政担当課と協議を行い、事業の財源確保のため起債の充当を行う。起債計画を作成し財政担当課へ提出し、償還予定表に基づき予算措置を行い、起債の元金償還を行う。				評価事業としないこととした理由	本事業については、過去に実施した事業による市債の元利償還を行うものであるため、評価する事業に値しない。			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	3,198	3,356	0	0	0	3,356	元金	千円	3198	3356	1552	3356
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他	3,198	3,356	0	0	0	3,356						
一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数	0.01	0.01				0.01						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費	3,279	3,436				3,436						
主な実施主体			実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					3,456	3,558	3,723	4,144	4,329	19,210		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	計画通り、起債元金の償還を行った。	
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由 起債を償還するために、継続が必要と判断する。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐			
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	